

お茶の水地理学会活動報告 (2016年度)

2016年度のお茶の水地理学会の活動は、下記の通りです。

1. 4月27日(水) 会報『harmonie』69号発行, 発送
2. 5月11日(水) 代表幹事会 参加者6名
3. 5月28日(土) 学年幹事会 参加者16名
総会 参加者20名
座談会 参加者45名
懇親会 参加者22名

*座談会

「地理教育は社会でどう役立つのか」

ファシリテーター:

長谷川 直子会員 (44回生 本学准教授)

パネリスト:

東山 節子会員 (8回生)

草山 淳子会員 (27回生)

滝澤 宏子会員 (33回生)

座談会要旨は本誌掲載。

*卒論優秀賞

平野 悠会員 (64回生) 「大都市都心地域における子どもの生活と社会-空間関係の考察-東京都中央区湾岸地区を事例に一」要旨発表

*博士論文報告 (博士課程修了)

久島 桃代会員 (56回生) 「農村に移住する若い女性と身体化される「場所」-福島県昭和村からむし織体験生「織姫」の語りから-」要旨発表

4. 7月6日(水) 代表幹事会 参加者5名
5. エクスカーション 9月22日(木)・23日(金)
「二つのアメリカ村 (大阪・和歌山)」

案内者:

吉田 道代会員 (和歌山大学教授, 38回生),

内田 忠賢氏 (奈良女子大学大学院教授, 元本学助教授)

参加者:

22日(大阪) 24名 (当学会16名, 明日香8名)

23日(和歌山) 26名 (当学会14名, 明日香12名)

※明日香とは、奈良女子大学地理学科卒業生同窓会です。

6. 10月26日(水) 学会誌『お茶の水地理』55号, 会報『harmonie』70号発行, 発送

7. 11月2日(水) 代表幹事会 参加者6名
8. 12月3日(土) 学年幹事会 参加者17名
講演会 参加者78名
懇親会 参加者17名

*講演会.

講師: 向後 元彦氏 (マングローブ植林行動計画・相談役)

「冒険の心、そして人生」

1940年東京生まれ。大学在学中に探検部設立。1962~63年, ネパール・ヒマラヤ。1964年, マレーシア・サバ州。1965年 深津紀代美 (11回生) と結婚, 仲人は深田 久弥夫妻。以後, 共に世界を歩く。

著書に『一人ぼっちのヒマラヤ』(1964, ベースボール・マガジン社), 『緑の冒険』(1988, 岩波新書), 『海の森・マングローブをまもる』(1992, 大日本図書), 訳書に『マングローブと人間』(2005, 岩波書店) などがある。

中東調査会最優秀論文賞(1986), ロレックス賞(1987, アラビアのマングローブ植生再生に対して), 日経地球環境技術賞(1994, 地球規模のマングローブ植林技術の開発に対して), 環境水俣賞(1998, ベトナムのマングローブ植林活動に対して, NGOとして受賞), 大同生命地域研究特別賞(1998, 地球規模のマングローブ植林, その研究と実践に対して) などを受賞。

講演には, 会員の他に, 学生, 桜蔭会会員, および大学HP, 「東京新聞」, 「朝日新聞」, 「文京区区報」, 「月刊地理」(古今書院) などの広報による参加者が集まった。講演要旨は本誌掲載。

本誌「お茶の水地理」に14期卒の長岡總子氏から論文が投稿された。長岡總子氏は, 本学卒業後清泉女学院中学校, その後トキワ松学園中学高等学校にて28年間社会科教諭として勤務。退職後, 1996年に横浜国立大学大学院工学研究科に入学, 人工環境システム学を専攻。2001年修了, 博士(工学)取得。植生学が専門。国士舘大学非常勤講師, 環境工科専門学校非常勤講師を歴任。

(お茶の水地理学会事務局 東野 真紀)